

本日 10/15 開院



高度医療による三大疾病の治療と使いやすさ・わかりやすさを両立

最初に病院構想のお話を伺ったのは2013年9月。理事長より、すべての人が使いやすい病院としたいこと、そして三大疾病の治療のため、数多くの最先端の医療機器を設置することなどを伺いました。その実現に向け、病院スタッフの方や医療機器メーカーとの打ち合わせを行い、また同規模の病院を視察するなど入念な準備の元で設計を行い、明確なゾーニングとコンパクトでわかりやすい施設構成としていきます。

スタッフステーション



スタッフステーションから病室の出入りを見通すことができるよう、病棟は三角のような形で設計されています。

エレベーターホール



3階以上のエレベーターホールはそれぞれ異なる色・動物で彩られ、幼い子どもでもわかりやすいです。

各階のインテリアは大地・水・大空などをイメージしたテーマカラーと、北海道の動物や花のデザインが施されています。

開院目標へ向け、様々な生産性向上施策を実施

今回のプロジェクトは最先端の医療機器を設置する難易度の高い工事であることから、北海道支店のみならず、本社医療関係部門の支援を受けるなど、全社体制で臨みました。医療対応の仕上りには多くの職種があり、通常より長い工期が必要でした。前作業の躯体工事は複雑で手間がかかるものの遅延させることができないため、生産効率を上げる取り組みを行いました。

工事概要

- 工事名称/ 社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院新築工事
■工事場所/ 札幌市西区宮の沢2条1丁目16番1号
■設計/ 株式会社 竹中工務店
■施工/ 竹中工務店・田中組共同企業体
■用途/ 病院(高度急性期病院)
■病床数/ 276床
■敷地面積/ 12,117.93㎡
■建築面積/ 6,666.05㎡
■延床面積/ 26,659.82㎡
■構造/ RC造・S造・一部SRC造
■工期/ 2015年2月～2016年9月

インナーモール



エントランスホールから検査室へのインナーモールは、木の温かみと間接照明が柔らかな印象を与えます。

この他、様々な施策を行うと共にモバイル機器を活用した最新の施工管理手法も取り入れ、検査記録の現地作成、電子化による迅速化を行いました。また各職長にも使っていただき、現場の状況をタイムリーに共有し、様々な改善に役立て、コミュニケーションツールとしても活用しました。その結果、スムーズな施工につながり、工程面だけでなく、安全面、品質面においても大きな効果が得られ、無事故無災害、予定通りの竣工引渡しを達成しました。

札幌の新たな医療拠点として宮の沢に誕生

三大疾病と運動器疾患を中心とした高度急性期病院
この度、社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院が完成し診療を開始します。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

地域への救急医療に貢献していきたい
医療の提供を目指すとともに、地域の救急医療に貢献していきたいと思っております。

また、未来の医療人の育成と次世代への継承をめざしてまいります

国内で32施設目、道内では初めて導入されるサイバーナイフ。専用の治療室で高度な放射線治療を実現します。



社会医療法人孝仁会 理事長 齋藤 孝次
北海道大野記念病院は、「がん」「脳卒中」「心臓病」の三大疾病と運動器疾患を中心とした高度急性期の病院として最新の診断機器と治療設備を整備し、救急医療にも対応できる体制を構築しております。

高機能放射線治療システムとして、道内初導入となるサイバーナイフ、最新のトモセラピー、さらには、平成30年稼働予定の陽子線治療システムを整備致します。

新病院では、最新の医学的叡智と機器を駆使し、患者様に優しく、より安全で苦痛の少ない医療の提供を目指すとともに、地域の救急医療に貢献していきたいと思っております。



Advertisement for construction companies: 株式会社竹中工務店 and 株式会社田中組. Lists various construction services and contact information.